

# 事務事業評価表

## 1. 基本事項

作成日 令和07年06月10日(火)

事務事業		救助活動事務				担当課	深谷消防課	担当係	深谷消防署	管理番号	54711
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち				事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
	中項目	1	備えができ安全・安心なまちづくり				根拠法令 個別計画等	・消防法 ・消防組織法 ・消防力の整備指針			
	小項目	2	消防・救急体制の充実					・高圧ガス保安法 ・鉄砲刀剣類所持等取締法 ・深谷市消防本部警防規程			
	主要プロジェクト										
事業概要		火災、交通事故及び水難事故をはじめとする各種災害から迅速に人命を救うため、特殊な装備や資器材を備えた車両及び高度で専門的な知識と技術を身に付けた隊員を配備し、各種災害現場において迅速、確実かつ安全な救助活動を遂行する。									
目的 ※何のために		住民の生命、身体及び財産を火災や各種災害から保護するとともに、被害の軽減を図ることを目的とする。									
対象 ※誰・何を対象に		住民の生命、身体及び財産。									
手段 ※どのように		複雑多様化する各種災害に対応するために、訓練、研修等を実施し技術、知識の向上を図るとともに、各種装備、資器材の点検、整備を実施し、常時使用可能な態勢を整えることで迅速な救助活動を遂行する。									
成果 ※何を求めるか		各種災害現場における救助活動時間の短縮、年間計画に基づく訓練の実施及び各種装備資器材の点検、整備状況を把握する。									
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NP0等 <input type="checkbox"/> その他( )									
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)			
本事業の 主な業務		・救助活動等災害対応業務					・				
		・救助資器材の維持管理業務					・				
		・各種救助訓練の企画立案、調整、実施に関する業務					・				
		・中高層建築物等の警防計画作成業務					・				
		・管内における危険場所、箇所等の調査及び啓発					・				
		・救助活動記録票、統計及び即報の作成事務					・				

## 2. 事業費(投入コスト)

※令和6年度は決算見込み額です。

単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画							
事業費	予算(現額)	0	0	0	0		
	決算額	0	0	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	0	0	0		
	一般財源	0	0	0	0		
人件費	従事職員数(人)	0.10	0.25	0.20	0.30		
	人件費相当試算※	786,956	2,002,542	1,644,449	2,558,346		
総事業費試算		786,956	2,002,542	1,644,449	2,558,346		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

### 3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
活動指標 1	救助出場件数（暦年）	目標値	件						
		実績値		98.00	90.00	134.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		救助出場件数のため目標値の設定に値しない。 / 出場件数						
	実績値の算出式								
活動指標 2	訓練・研修回数	目標値	回	44.00	44.00	58.00	58.00		
		実績値		44.00	44.00	55.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		年間訓練計画表に基づく訓練実施回数。（消防救助技術指導会訓練を除く。） / 実施回数						
	実績値の算出式								
活動指標 3	資器材点検実施率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00		
		実績値		100.00	100.00	100.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		100%の資器材点検を目標とする。 / 実施日／365日×100						
	実績値の算出式								
成果指標 1	資器材常時使用可能率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00		
		実績値		100.00	100.00	100.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		車載されている全資器材の常時使用可能率。 / 使用可能数／全資器材×100						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

### 4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。  
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

#### （1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	年間訓練計画に定められた訓練及び研修を実施し、隊員の能力向上や適応能力向上に一定の成果を挙げることが出来た。 資器材点検についても日常点検、週間点検を実施し、点検実施率は目標達成出来た。 点検を通じて訓練も同時に行い、災害活動においても資機材能力を熟知し、能力を十分に発揮することが出来た。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	日常点検及び週間点検、月例点検を実施し、資器材を常時使用可能とすることが出来た。また、点検時に不具合等が発生した場合は、早期に修繕を行い、災害活動に支障なく対応することが出来た。
			評価者 救助係長 荏塚教弘・五十嵐宏幸

#### （2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	深谷消防署職員に対し、重機特別教育を実施し免許取得に必要な経費を削減し、免許取得者を増員することが出来た。また、特殊災害対応訓練では、Webによる研修を行い、一定の効果をあげるとともに、時間と人件費を削減することが出来た。 交通救助訓練では、廃車車両を有効活用し、隊員の知識、技術の向上を図り災害対応能力の向上を図ることが出来た。
			評価者 救助係長 荏塚教弘・五十嵐宏幸